

2023年(令和5年)

10月18日号 №.303

年5回(5・8・10・12・2月)発行

発行 市川市消防局

〒272-0021市川市八幡1丁目8番1号

TEL047-333-2111(代)FAX047-333-8181

ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

※右の二次元コードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

こちら

119

▼二次元コード



消防 テレホンガイド

(333)3636

火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

【本テレホンガイドは、12月末で終了します】

火災・救急件数(9月末日 現在)

◆火災 54件【前年比 -2件】

◆救急 21,691件【前年比 +1,515件】

ラッピングバスが完成しました!



男性の職業というイメージが強い消防という仕事でも、女性が活躍できる職業であることを多くの方に知っていただくため、京成バスの車体に女性消防吏員活躍推進を目的とするデザインをラッピングしたバスが市内を走ります。

ラッピングバスのデザインは、市川市と包括協定を結んでいる「和洋女子大学」の学生さんに作成して頂きました。

市民の花である「バラ」をあしらい、女性の華やかな雰囲気を感じられるデザインとなっています。

市川市では、毎年、消防吏員採用試験を行っております。

私達と一緒に、市民の「安全」と「安心」を守るため、たくさんの方の応募をお待ちしております。

※令和6年度の消防吏員採用試験案内は、市川市公式WEBサイトなどでご案内いたします。

☆バス運行期間☆

令和5年9月29日(金)から
令和6年3月31日(日)まで



↑デザインをして頂いた
和洋女子大学 人文学部
日本文学文化学科 文化芸術専攻
4年生 水野 円香さん
「特に気に入りは後ろ部分のデザインです。」

令和5年度 火災予防絵画展入賞作品決定!

市川市内の小学校37校から653人の皆さんのが火災予防の絵画を描いてくれました。

どの作品も、火災予防の大切さが伝わってくる素晴らしい作品でした。

入賞した作品については、秋の火災予防運動実施期間中の11月9日(木)～15日(水)までニッケルトンプラザのセンターモールで展示させて頂きます。

近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



最優秀賞 平田小学校 5年生
小坂 明日美さん



最優秀賞 南行徳小学校 3年生
松村 有紗さん

はじめてみよう

ローリングストック法

ローリングストックは日常生活の延長で「もしも」に備えるカンタン備蓄です。

普段から食べている加工食品や食材を少し多めに購入し、日常で使い、使った分だけ買い足す、この行動を循環させて常に一定量の食材を家に置いておく備蓄方法のことです。

日常生活の延長でもしもに備える

カンタン備蓄



(二次元コード)

市川市公式WEBサイト
詳しくは二次元コードよりご確認ください。
協定事業者のお得な情報もあります。

【問い合わせ先】市川市 危機管理室 地域防災課

TEL:047-704-0065

令和5年度全国統一防火標語「火を消して 不安を消して つなぐ未来」



11月9日は119番の日



市川市では、ちば北西部消防指令センター(以下「指令センター」という。)で119番通報を受信しています。

指令センターは、松戸市中央消防署内に整備され、近隣の10市で運用しています。

共同で運用する事により大規模災害や救急車が多数出場している場合などの対応が強化され、隣接した市からスムーズな応援を受けることが出来ます。

また、多様化する緊急通報へは、「Net 119緊急通報システム」(※聴覚障がい等により、音声通話が困難である方が携帯電話等で緊急通報できるシステム)や外国人の方からの通報には電話通訳センターを活用し三者同時通話により対応しています。

本市からは13名の職員が指令センターに出向しています。



119番通報受信件数は年間約16万件で、1日あたり約450件となります。
18名の職員が当直勤務をしています。

その119番 本当に緊急ですか?

少し指を切った・蚊に刺さされ痒い・虫がでた……
救急車を呼ぶ前に考えてください



昨年1年間の救急出動件数は27,114件で過去最多の件数を記録しました。

今年は8月末までに19,247件の救急出動があり、昨年の同期と比べて1,184件増加しています。

市川市の救急車は13台です。本当に必要な人のために使いましょう。

適正利用にご協力ください

「救急車を呼ぶか判断に迷ったら」「すぐに救急車を呼んでほしい症状」など、もっと知りたい!という方は右の2次元コードから市川市公式WEBサイトをご覧ください。



市川市所属の佐藤司令補に お話を聞いてみました。》》

Q 指令管制員の仕事について教えてください。

A 119番通報者からの情報を的確、迅速に聴取し、適切な車両を出動させることが主な仕事です。

119番は命を繋ぐ大事な電話で、市民が助けを求める最初の窓口になるので、1秒でも早く出動指令を出す事を心がけています。

状況によっては、胸骨圧迫(心臓マッサージ)や止血などの口頭指導をしています。

Q 指令管制員として気を付けている事はありますか?

A 指令センターでは、最近、1日に500~600件の119番通報を受信することもあります。

私達、指令管制員は、1日に何本も119番を受信していますが、市民の方は一生に一度の119番通報をする方もいるので、常に相手の伝えたい事を把握出来るように心掛けています。



Q 市民の方へお願いはありますか?

A 119番通報時に、「サイレンを鳴らさないで来てください。」と要請がありますが、緊急車両は、法律で決まっているため、サイレンを鳴らさないと緊急走行をすることが出来ません。皆さんご理解の程よろしくお願いします。

第51回全国消防救助技術大会 に出場しました!

第51回全国消防救助技術大会が8月25日(金)に北海道札幌市で開催されました。

市川市消防局からは、千葉県大会、関東地区指導会を勝ち抜き、陸上の部では1種目(引揚救助)、水上の部では2種目(複合検索、水中結索)に出場しました。

日頃の訓練成果を発揮し、入賞を果たしました。

今後も、市民の安全と安心のために消防救助技術の向上を目指して行きます。



引揚救助

5人1組で地下やマンホール等での災害を想定した訓練です。



水中結索

3人1組で水中におけるロープ結索技術を修得するための訓練です。



複合検索

水中の行方不明者の検索を想定した訓練です。

